

市道除雪計画、道路26路線4.6km増 除雪業者に最低補償を拡充

令和2年度市道除雪計画書が8日公表されました。

除雪計画路線は、市道延長1528.7kmのうち、道路除雪3150路線1137.5km、歩道除雪146路線105.0kmです。

昨年度対比では、道路26路線4.6km増、歩道では1路線1.4km増です。

道路用除雪機械は261台（うち市有車131台）、歩道用除雪機械27台（うち市有車22台）です。

防雪柵の設置は、幹線道路などの99路線、延長23.21km。

道路消雪施設は幹線道路40路線、延長15.79kmです。

凍結防止剤の散布は、幹線道路の登り坂や橋及び主要交差点等190箇所、延長25.29kmに散布します。

公共施設については

小・中学校等294箇所、所定の駐車場等の除雪作業を実施します。

10cm以上で出勤

除雪機械の出動基準は、路面に10cm以上の降雪がある場合、又は午前7時まで10cm以上の降雪が予想されると認められる場合を基本とし出勤します。

降雪がない場合でも道路の安全を確保するため、道路の状況に応じて剥ぎ取り・道路拡幅等を行います。

豪雪対策本部

豪雪対策本部の設置基準は、本所の観測地点（鶴岡公園の観測地点）が70cmを超え、道路事情が悪化し引き続き降雪が多量に見込まれる場合が基準です。

朝日庁舎では、大網除雪基地の観測地点の

積雪が150cmを超え、温海庁舎では、温海川観測地点の積雪が150cmを超え、道路事情が悪化し引き続き降雪が多量に見込まれる場合を基準とします。

積雪が150cmを超え、温海庁舎では、温海川観測地点の積雪が150cmを超え、道路事情が悪化し引き続き降雪が多量に見込まれる場合を基準とします。

雪捨て場

- 排雪場所雪捨て場の指定は、
 - ・本所赤川三川橋上流右岸
 - ・藤島庁舎藤島川藤浪橋上流左岸
 - ・羽黒庁舎羽黒町手向字聖山内
 - ・櫛引庁舎赤川櫛引橋下流左岸です。

労務単価100%

除雪委託業者の稼働時間が基準に満たない場合に、平成21年度から最低補償制度を導入しています。

昨年度の記録的な小雪を受け、制度の見直しがされました。

変更点は、①労務単価の見直し（現行Ⅱ労務単価×60%、変更後Ⅱ労務単価×100%）

②基準時間の見直し（全市一律の基準時間を、各地域、地理特性に細分化して設定する）の2点です。

老いて生きがい（一）

鈴木重雄（八色木・93歳）



花は年々同じように咲くが、人は毎年歳を取って、花のような美しさを保つことはできない。

ここで童心に戻って老いの身を癒やしたい。

孫の家の思い出

私は昭和2年10月、孫の家である飽海郡上郷村の旧山寺村の三浦半次郎家で生まれた。上郷村は現在の酒田市南東部、最上川右岸にあたる。

1889（明治22）年4月1日、町村制の施行により山寺村など7村の区域をもって発足し、1955（昭和30）年1月1日、松嶺町・内郷村と合併して松山町が発足し、上郷村は廃止された（廃止時の人口は3172人）。

庄内地方は最上川を境に川北、川南と呼んで、川を挟んで、性格も言葉づかいも違っていた。

山寺村と八色木は3里半位の道程である。もともと藩政時代の八色木村は松山領で、藩主が酒井藩に上洛の際には、八色木村の飯鉢忠左衛門家が「御休所」であり、年貢米の上納などで交流があった村である。

こんな離れた村と縁があったのは、私の祖母が5人の子どもを残して他界し、後妻が来て、その後妻の親戚で

ある山寺村の三浦家から私の母が嫁いだ。私の母は三浦家の長女で、弟3人との4人姉弟である。祖母は近くに嫁がせ、何かと相談相手にしたかったのだと思うが、八色木までとは心情察するはかりである。

私は子どもの頃、夏休みになると、孫の家で過ごしていた。橋之脇く廻館く小出新田渡し場で、最上川を舟で渡った。

渡し場には茅でミノボウシの形をした番小屋に船頭が待っている。船頭が対岸にいる時は、大きな声で呼ぶと迎えに来る。

リヤカーや子牛なども一緒に乗ることもあり、船頭は川岸を50坪ほど遡上し、斜めに舟を下し船着場にあがった。

恐怖と楽しさが同居した乗り心地であった。川が増水すると渡れないので、堤防と下流の庄内橋を渡り、松嶺経由で山寺村まで歩くことになる。

やがて、鶴岡から藤島く八色木く南野く余目く松嶺く山寺行ききの木炭バスが運行し、便利になった。（つづく）

【漢詩 農シリーズ】

農回顧

其十八

擁褐青鞋興若何
空囊不合斗升余
慳包私産雖無総
農業別持農業居

農回顧

其の十八

褐を擁かつかして青鞋せいあい 興きよう 若何いかん
空囊くうのう 合あに斗升としようすら余あますべからず
慳包けんぼう 私産しさん 総すべて 無しなしと雖もいえず
農業のうぎようには別べつに農業のうぎようの居たくわえを持つもつなり

城貞(藤の花)

昔の多くの農家の人達は粗末な着物に草履姿の生活で、どんな楽しみがありますか。

財布は空っぽでわずかなゆとりもないありません。こっそり貯めるへそくりなんてあろうはずがない。それでも農家にはお金の代わりに別の蓄えがあった。(米、野菜、味噌、納豆、漬物、乾物と近所との心の通う助け合いの精神を持ち合わせていた。)

農||百姓。回顧||ああいう事もあつたこういう事も有つたと昔を思い出す。擁||いだく。褐||荒い布で貧しい者が着る服。青鞋||わらじ。興||楽しみ。若何||どのように。囊||銭入れ。不合||はずがない。斗升||斗は一斗を量る。升一升は一升を量る升で転じてわずかの量(米一斗はおよそ15kg)。余||余分。慳包||貯金。私産||こっそりため込むお金。総||ほとんど。居||当座必要としない物でも将来のためにとっておく。



アフリカ中西部のダホメ王国||現在はペナン共和国。地図は、昭和8年出版の三省堂「新世界地図」

世界の国々 フランス ①

文化財の返還問題に悩む

青山 崇

これまで、大英博物館のシンボルであるロゼッタストーン(古代エジプトのヒエログリフ文字、デモティック文字、ギリシア文字の3種で記述された石柱を初め多くの文化財について、長年にわたって返還運動が進められてきたが、ほとんどどちらが開かなかつた。

今ヨーロッパの博物館は、19世紀に自国の植民地軍の略奪や、貪

欲な布教者、大使らが奪った国宝の返還要求に悩んでいる。特にアフリカの文化財の9割が欧州の博物館に保存されている。パリのケ・ブランリ美術館では、アフリカなどの「原始美術」文化財コレクションを見ようと、昨年は11万人が訪れたという。アフリカコーナーを歩いていくと、躍動感あふれる人の背丈ほど

の3体の木像が目に入る。

真ん中は「半島人」、両脇は「半獣(ライオン)人」「半魚(サメ)人」で異彩を放つ。

アフリカ中西部のギニア湾に面するベナンの内陸部に栄えた、ダホメ王国の19世紀の王3人を象徴した像だ。現在はベナン共和国と改名。ベナンに返還される見通しの半島人の木像(写真)。肩や腕あたりに羽根のようなデザインが見える。ゲゾ王の象徴とされる。



ベナンに返還される見通しの半島人(中央)、半獣人(左)、半魚人の木像。獣はライオン、魚はサメ。いずれもベナンの内陸部にあったダホメ王国の19世紀の王の象徴という||パリ



良い対策セーヤ

前々号で「目標が遠いと誤魔化されてしまふ」から注意しないと・と書きました。現にこの頃は、国の借金・「国債」については、

マスコミに出ることが無くなったでしよ。政府から忘れさせられているんだと思いませんか。

▲消費税が世に出た時確か国民にこう約束したと記憶しているんだが、「これで福祉を良くし、国の借金を無くする」と。消費税が3%の時ですよ。あれから3回も上げやがって、今は10%タゲ。

▲この間・アベの時代。平成〇〇年まで国債を解消する・と彼が言明したんだつたが、国債は減っていない。福祉は良くはならなで、逆に悪くなっているんだ。▲その財源は、法人税減税の穴埋めに大半が

消えたんだヨ。福祉の自然増まで削つてだ、福祉に回つたのは些かなんだ。こんなことをマスコミは追及しないんだからな。

▲我が国は米国の債券を持つっていると記憶しているんだが、誰かの総理の時に、その返還を口にして、大統領から叱られたと報道があった記憶だ。その点、日本は国内だけの借金と記憶しているが。

▲日本の年々増える借金・国債は、大金持ちや大企業・大銀行などの遊んでいる金なんだと思うヨ。だから、国債を抱えて倒産したナント話は聞かないでしよ。そうだ、地方交付税を貰っていない自治体・東京都なども国債を持つっていると記憶。利子という収入が毎年入るんだぜ。

▲国債は、いつ・どんな風に無くすんだヨ。コロナに忙しいってガ。コロナにも国債にも良い対策セーヤ。(石川)